

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立羽生第一高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校評議員会や学校評価懇話会などを通し、保護者・地域の期待やニーズを把握している。学校に寄せられる期待に十分応え、更に学校の特色や強みを生かしたものとなるようにしていきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、中期的な視点から、課題などを更に検討・整理して、より一層具体的な目標とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて必要な評価項目が挙げられている。アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の取組など、学校全体の目標を踏まえ、教科等で検討される方策等を再び学校全体のシートへフィードバックして相互の連携を図るなど、学校自己評価の運営体制について工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌・学年・教科のシートが作成されている。評価指標については、定量指標を適切に用いており、教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されているが、取組指標と成果指標をうまく組み合わせると更に良い。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、全ての教職員が共通理解を深め、挨拶を始めとした生徒指導や授業改善に向けた取組など、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	次年度への課題を丁寧に引き継ぎ、評価項目の設定が行われている。次年度への改善策を明らかにするために必要なデータが得られるようアンケートの工夫を進め、次の一手として、より明確で具体的な取組につなげるようにしていきたい。	
特記事項			